

建築図面作成

セット受講



実践建築設計2次元CAD技術(木造平面図編)
[使用ソフト:Jw_cad]

詳しくは下記二次元コードを読み取ってホームページをご確認ください。



日程
〈1回目〉 4/24(水)・25(木) **2日間**
〈2回目〉 12/23(月)・24(火) **2日間**

受講料 定員
各8,500円 各10名

時間
9:30~16:30

概要

建築図面作成業務の効率化をめざして、Jw_cadによる木造平面図の作成方法を習得します。

1H021または1H022「実践建築設計2次元CAD技術(木造立断面図編)」とセット受講となっております。当コースのみを受講希望の方は、ご相談ください。

- 1 Jw_cadに関する知識
- 2 各種コマンド(画面操作/作図・編集コマンド等)
- 3 木造平面図の作成
- 4 印刷(印刷画面、印刷範囲等)

受講者の声

- CADがどういふものかも深く理解できていませんでしたが、設定や機能等ひとつひとつ細かく教えてくださり、今後の業務に活かれます。
- 独学で使用していたが、効率的にできるようになりました。
- 説明・資料ともに分かりやすく、たいへん良かったです。おかげさまで業務の効率を良くできそうです。

使用機器

パソコン、Jw_cad

持参物

筆記用具



実践建築設計2次元CAD技術(木造立断面図編)
[使用ソフト:Jw_cad]

詳しくは下記二次元コードを読み取ってホームページをご確認ください。



日程
〈1回目〉 5/9(水)・10(金) **2日間**
〈2回目〉 1/15(水)・16(木) **2日間**

受講料 定員
各8,500円 各10名

時間
9:30~16:30

概要

建築図面作成業務の効率化をめざして、Jw_cadによる立面図・断面図の作成方法を習得します。

1H011または1H012「実践建築設計2次元CAD技術(木造平面図編)」とセット受講となっております。当コースのみを受講希望の方は、ご相談ください。

- 1 Jw_cadに関する知識
- 2 各種コマンド(画面操作、作図・編集コマンド等)
- 3 木造立面図・断面図の作成
- 4 印刷(印刷画面、印刷範囲等)

受講者の声

- 疑問に思っていた事が解決出来、何回か受講する事によって、新しい発見や知識が身につきました。
- リフォーム用の図面を書く時に役立てることができました。
- 本やネットのみで書いていたので、コマンド操作等きちんと教えていただけてよかったです。

使用機器

パソコン、Jw_cad

持参物

筆記用具



実践建築設計2次元CAD技術(RC造平面図編)
[使用ソフト:AutoCAD]

詳しくは下記二次元コードを読み取ってホームページをご確認ください。



日程
4/15(月)・16(火) **2日間**

受講料 定員
8,500円 10名

時間
9:30~16:30

概要

建築図面作成業務の効率化をめざして、AutoCADによるRC造平面図の作成方法を習得します。

- 1 AutoCADに関する知識
- 2 各種コマンド(画面操作、作図・編集コマンド等)
- 3 RC造平面図の作成
- 4 印刷(印刷画面、印刷範囲等)

受講者の声

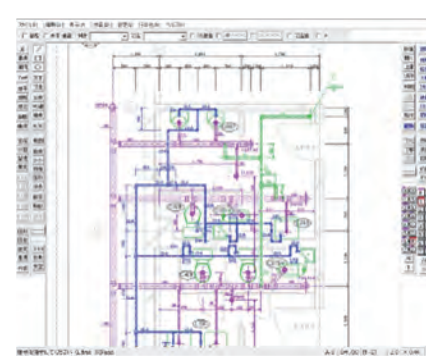
- 教材と演習ファイルがすごく良く出来て思いました。
- 2日間ということで、非常に無駄がなく、中だるみもなく、テンポ良くサクサクと教えてくださって、大変分かりやすかったです。

使用機器

パソコン、AutoCAD

持参物

筆記用具



実践建築設計2次元CAD技術(給排水編)
[使用ソフト:Jw_cad]

詳しくは下記二次元コードを読み取ってホームページをご確認ください。



日程
〈1回目〉 6/4(火)・5(水) **2日間**
〈2回目〉 12/3(火)・4(水) **2日間**

受講料 定員
各8,500円 各10名

時間
9:30~16:30

概要

建築図面作成業務の効率化をめざして、Jw_cadによる設備図の作成方法を習得します。

- 1 Jw_cadに関する知識
- 2 各種コマンド(画面操作/作図・編集コマンド等)
- 3 設備図(給排水)の作成
- 4 印刷(印刷画面、印刷範囲等)

受講者の声

- 学生の頃CADは学んだが、身につけなかった。再度勉強させてもらい自分で作図できるようになった。
- 個別にゆっくり指導してもらい分かりやすかった。

使用機器

パソコン、Jw_cad

持参物

筆記用具

建築モデリング/建築設計補助



実践建築設計3次元CAD技術(木造編)
[使用ソフト:3Dマイホームデザイナー]

詳しくは下記二次元コードを読み取ってホームページをご確認ください。



日程
7/3(水)・4(木) **2日間**

受講料 定員
11,000円 10名

時間
9:30~16:30

概要

住宅・建築プレゼンテーションにおいて、より効率よく効果的に設計意図を表現するための技術を習得します。

- 1 マイホームデザイナーに関する知識
- 2 操作方法
- 3 立体イメージ化
- 4 課題演習

受講者の声

- 購入した3DCADの操作の方法を知ることができました。
- ソフトの使い方が良くわかりました。
- わからなくて困っていた事がわかりました。

使用機器

パソコン、マイホームデザイナー

持参物

筆記用具



実践建築設計3次元CAD技術(プレゼンテーション編)
[使用ソフト:ARCHITREND ZERO]

詳しくは下記二次元コードを読み取ってホームページをご確認ください。



日程
〈1回目〉 4/10(水)・11(木) **2日間**
〈2回目〉 10/22(火)・23(水) **2日間**

受講料 定員
各9,500円 各10名

時間
9:30~16:30

概要

ARCHITREND ZEROを使用した間取りプランの作成と申請業務に対応した設計図書の作成、お客様のご要望に合わせたプレゼンテーション資料の作成技術について、課題演習を通して学びます。

- 1 ARCHITREND ZEROの操作方法
- 2 演習プランの確認
- 3 プランの立体化(3次元化)
- 4 各種図面の作成とパース作成
- 5 プレゼンテーション資料の作成

受講者の声

- jw_cadの経験しかなかったので、知らなかったフォトモニターやうろ覚えだったことを理解できました。
- 自分でプレゼンする図面の作成が出来るようになる為の技術が身につきました。

使用機器

パソコン、ARCHITREND ZERO

持参物

筆記用具

建築モデリング/建築設計補助



在来木造住宅設計
実践技術(構造・省エネ編)
[使用ソフト:ARCHITREND ZERO]

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H071

日程

11/13※・14※ 2日間

受講料 定員
9,500円 10名

時間

9:30~17:30

概要

ARCHITREND ZEROを使用した間取りプランの作成と申請業務に対応した設計図書を作成。実習を通して構造や省エネの高付加価値化に向けた住宅に必要な設計技術を習得します。

- 1 ARCHITREND ZEROの操作方法
- 2 演習プランの確認
- 3 法規制の検討
- 4 基本設計図書の作成

受講者の声

- 省エネや構造など建築の状況が変わっていくので、その際の知識を得る良い機会になりました。
- 教材でも見落としていたテクニックなど、再確認する事ができました。
- ソフトをうまく使いこなせていないので、講習が役に立ちました。

使用機器

パソコン、ARCHITREND ZERO

持参物

筆記用具

セット受講がおすすめ

BIM



BIMを用いた
建築設計技術
[使用ソフト:Revit]

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

<1回目> 1H081 <2回目> 1H082

日程

<1回目> 4/18※・19金 2日間
<2回目> 10/16※・17※ 2日間

受講料 定員
各9,000円 各10名

時間

9:30~16:30

概要

BIMの概要と操作方法を理解し、建築図面作成業務の効率化をめざして、BIMソフト(Revit)によるモデリングの作成方法を習得します。

- 1 Revitに関する知識
- 2 Revitのモデリング条件
- 3 モデリング
- 4 図面作成

受講者の声

- 3Dによるプレゼンに活用できる可能性が広がりました。
- 教材も分かりやすく、先生が一つ一つ丁寧に教えて下さったので、2日間ですごく成長できました。
- また機会があればBIMの研修に参加したいです。

使用機器

パソコン、Revit(BIM)

持参物

筆記用具

NEW



BIMオブジェクト作成と
効率的な活用実践技術
(ファミリ編) [使用ソフト:Revit]

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H121

日程

11/20※・21※ 2日間

受講料 定員
9,000円 10名

時間

9:30~16:30

概要

Revitによる実践的なBIMオブジェクトの作成技術と活用技術を習得します。

※1H081,1H082
「BIMを用いた建築設計技術」
[使用ソフト:Revit]とセット受講とおすすめします。
※当コースのみを受講希望の方は、ご相談ください。

- 1 Revitの活用方法
- 2 Revitオブジェクト(部品パーツ)作成実習
- 3 作成データの活用実習

NEW 令和6年度から新しく始まるコースです。

使用機器

パソコン、Revit(BIM)

持参物

筆記用具

セット受講がおすすめ

BIM



BIMを用いた
建築設計技術
[使用ソフト:GLOBE]

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H101

日程

5/15※・16※ 2日間

受講料 定員
9,500円 10名

時間

9:30~16:30

概要

BIMの概要と操作方法を理解し、建築図面作成業務の効率化をめざして、BIMソフト(GLOBE)によるモデリングの作成方法を習得します。

- 1 GLOBEに関する知識
- 2 GLOBEのモデリング条件
- 3 モデリング
- 4 図面作成

受講者の声

- これまであまり具体的に理解できていなかったBIMについて、理解することができました。
- 講義が大変わかりやすかったです。

使用機器

パソコン、GLOBE(BIM)

持参物

筆記用具

NEW



BIMオブジェクト作成と
効率的な活用実践技術
(詳細図編) [使用ソフト:GLOBE]

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H111

日程

6/19※・20※ 2日間

受講料 定員
9,500円 10名

時間

9:30~16:30

概要

GLOBEによる実践的なBIMオブジェクトの作成技術と活用技術を習得します。

※1H101
「BIMを用いた建築設計技術」
[使用ソフト:GLOBE]とセット受講とおすすめします。
※当コースのみを受講希望の方は、ご相談ください。

- 1 GLOBEの活用方法
- 2 GLOBEオブジェクト(部品パーツ)作成実習
- 3 作成データの活用実習

NEW 令和6年度から新しく始まるコースです。

使用機器

パソコン、GLOBE(BIM)

持参物

筆記用具

建築設計



実務事例に基づく
建築確認申請
実践対策技術

コース番号

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H131



日程

5/22(水)・29(水) **2日間**

受講料	定員
9,500円	10名

時間

9:30~16:30

概要

住宅における部分リペアの計画・工事管理業務の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた補修診断の知識とともに部分リペアの計画、補修工事及び工事管理に関する技術を習得します。

- ① 部位ごとの不具合事例
- ② 床部分のリペア実習
- ③ 壁部分リペア実習
- ④ 不具合への対処・解決法

受講者の声

- 10年以上確認申請業務していなかったので勉強になりました。
- 建築業を行う上で、同僚や部下への指導、説明等を行えるようになった。
- 現在実務に直結した話でとても参考になりました。

使用機器

パソコン

持参物

筆記用具



木造住宅における
壁量計算技術

コース番号

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H141



日程

6/29(土)・30(日) **2日間**

受講料	定員
10,500円	10名

時間

9:30~16:30

概要

木造軸組住宅における水平力に対する構造安全性を確認するため、壁量計算や耐力壁のバランスなどについて演習を通して習得します。

- ① 木造住宅の構造計画
- ② 建築基準法の仕様規定による計画

受講者の声

- 木造住宅における壁量の計算が理解できました。
- 現在パソコンなどでデータとして使われているあたりまえの事を、頭で整理(根拠)ができました。

使用機器

パソコン、電卓

持参物

筆記用具、電卓

内装施工



内装材の部分リペア
実践技術
(ふすま編)

コース番号

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H151



日程

9/12(水)・13(金) **2日間**

受講料	定員
10,500円	10名

時間

9:00~17:00

概要

住宅における部分リペアの現場力強化及び技能継承をめざして、補修診断の知識とともに部分リペアの補修工事に関する技術を習得します。

- ① 部位ごとの不具合事例と実習
- ② 不具合への対処・解決法・まとめ

受講者の声

- 熱心に親身に一生懸命ご指導いただき本当にありがとうございました。

使用機器

補修工具一式

持参物

補修工具一式

セット受講がおすすめ

ビル設備管理



給水設備保守・管理技術

コース番号

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H211



日程

5/11(土)・12(日) **2日間**

受講料	定員
7,500円	10名

時間

9:30~16:30

概要

住宅における部分リペアの現場力強化及び技能継承をめざして、補修診断の知識とともに部分リペアの補修工事に関する技術を習得します。

1H221「排水設備保守・管理技術」とのセット受講をおすすめします。

- ① 給水設備の概要
- ② 給水管の直径の決定法
- ③ 給水設備の保守・管理
- ④ 読図に関する実習

受講者の声

- 分解・組込み、カットモデル等見ることが出来、構造等の理解が深まりました。
- トラブルの原因の想定と対処が理解できました。
- 給水設備の構造理解と水漏れ箇所による対処の仕方がわかりました。
- 写真や実物を見ながら、実際に実物を使用して指導を受けることができました。
- 普段当たり前に作業していましたが、専門的に習うことができて勉強になりました。

使用機器

衛生器具、混合水栓、各種単水栓、配管工具、残留塩素測定器

持参物

筆記用具、保護手袋



排水設備保守・管理技術

コース番号

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H221



日程

5/18(土)・19(日) **2日間**

受講料	定員
7,500円	10名

時間

9:30~16:30

概要

排水設備の各種配管や衛生設備に関する故障診断の知識とトラブル発生時の対処法に関する技術を習得します。

1H211「給水設備保守・管理技術」とのセット受講をおすすめします。

- ① 設備の構成・施工法
- ② 衛生器具の管理
- ③ 排水設備の洗浄実習

受講者の声

- 排水設備についての知識が深まりました。
- 業務ではトラブル後の対応で、原理までは深く学ぶ時間がなかったので、学ぶことができて役に立ちました。実際に取付け、取外しも実践できてわかりやすかったです。
- 実例や事故等の話も聞いて想像がしやすく、わかりやすかったです。市販教材等で独学で学ぶよりも、実際に話を聞きながらのほうが身につきました。また受講したいです。

使用機器

衛生器具、配管工具、管ツール一式

持参物

筆記用具、保護手袋



ビル設備管理の実務

コース番号

詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。

1H231



日程

6/20(水)・21(金) **2日間**

受講料	定員
8,500円	10名

時間

9:00~17:00

概要

ビル等における各種設備のトラブル発生時における対処法及び設備の適正な運用・管理に関する技術を習得します。

- ① 給排水衛生設備の保全
- ② 空調設備の保全
- ③ 照明
- ④ 消防設備

受講者の声

- トラブルの原因、対応の仕方等とても分かりやすく、日頃の業務でも活かせると思いました。
- 現場では見ることが出来ない事を目で見ることが出来、社内で身につけることが出来ない内容を理解することが出来ました。
- 今まで現場でトラブルが起こる度に、その場で対処していましたが、正式な知識を身につけることができました。
- 実務的な範囲に主眼を置いたセミナーで、日頃の業務で大いに役立ちました。

使用機器

消防設備シミュレーター、衛生器具、各種水栓

持参物

筆記用具、保護手袋

ビル設備管理



事例で学ぶビルにおける
給排水衛生設備の
保守管理技術

コース番号
詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。



日程

3/5(水)・6(木)・7(金) **3日間**

受講料 定員
11,000円 10名

時間

9:30~16:30

概要

給排水衛生設備に関する故障対応・予防に向けたビル設備管理業務における給水設備・給湯設備・排水設備の点検、保守、メンテナンス等に係る必要な知識及び技術を習得します。

- 1 給水設備
- 2 給湯設備
- 3 排水設備
- 4 関連法規

受講者の声

- 給排水の設備に関して大変勉強になりました。具体的な事例をまじえて教えていただきありがとうございました。
- 知らなかった事がたくさん理解できました。また、実習を通して色々な器具・工具を知ることができたのがよかったです。
- 水道や設備について詳しく教えていただき、今までよくわからなかった部分が理解できました。
- 大変わかりやすく教えていただき、もっと深く、幅広く知識をつけたいなと思いました。今回学んだことを今後の業務に活かしていこうと思います。

使用機器

衛生器具、混合水栓、各種単水栓、配管工具、残留塩素測定器、管ツール一式

持参物

筆記用具



ビルにおける防災設備と
管理のポイント

コース番号
詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。



日程

7/18(木)・19(金) **2日間**

受講料 定員
8,500円 10名

時間

9:30~16:30

概要

消防防災設備の特性(構成)を理解するとともに、確実に稼働するための管理手法及び緊急時の的確な対処技術を習得します。

- 1 防災法と災害事例
- 2 各種消防設備の用途・目的
- 3 各種消防設備の取扱い

受講者の声

- 業務で実物を見ても仕組みがわかっていなかったのが理解できました。
- 実習、座学ともに現場で活かせる事ばかりで、受講して良かったです。
- 仕事に役立つ知識がとてつもなくわかり易く学べた。

使用機器

消防設備シミュレータ、視聴覚教材(場合によって実物見学)

持参物

筆記用具、保護手袋



電気設備のための
計測技術

コース番号
詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。



日程

<1回目> 4/15(月)・16(火) **2日間**
<2回目> 10/8(火)・9(水) **2日間**

受講料 定員
各7,500円 各10名

時間

9:30~16:30

概要

一般的な電気知識を習得し、電気作業、電気設備の現場作業に必要な安全対策及び各種測定器による測定実習を通して効果的な測定技術・管理技術を習得します。

- 1 電気工作物の知識
- 2 計器と測定実習
- 3 計測データの検証

受講者の声

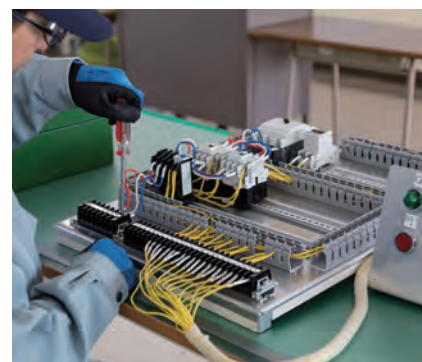
- 講習内容もわかりやすく日々の業務で使用する道具の正しい使い方だったり、電気の恐さをあらためて知ることが出来ました。今回学んだことは業務内で活かし、部署内に周知していきます。
- 様々な計測器の使い方や気を付ける点を知ることができて良かったです。
- 色々な計測の方法を学べ、電気に対する危険性や安全性についても理解できました。
- メガーやクランプメータは名前すら知らなかったが、使い方を知ることができて良かったです。

使用機器

各種電気計測器、誘導電動機、各種継電器

持参物

筆記用具、保護手袋



電動機制御のための
有接点シーケンス制御

コース番号
詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。



日程

7/10(水)・11(木)・12(金) **3日間**

受講料 定員
13,000円 10名

時間

9:30~16:30

概要

有接点リレーシーケンス制御による電動機の運転回路について、シーケンス図の読み方及び配線などの作業の効率化・改善を目指して、安全と品質に配慮した電動機制御の実務作業とその評価方法を習得します。

- 1 制御回路作成
- 2 電動機の直入れ始動回路
- 3 電動機の正転・逆転回路
- 4 電動機のY-△始動回路

受講者の声

- 過負荷、欠相したモーターが運転中どうなるのか学ぶことができました。
- 電動機の運転原理がより深く理解できました。
- 資料・説明がわかりやすかったので、同僚に簡単に伝達できそうです。
- 会社では、旧JIS図記号の使用頻度が多いため、旧のことしか知りませんでしたが、新しいJIS図記号を知ることができました。

使用機器

シーケンス制御盤、クランプメータ、メガ、テスタ等

持参物

筆記用具、保護手袋

RENEWAL



現場のための
電気保全技術

コース番号
詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。



日程

<1回目> 7/22(月)・23(火)・24(水) **3日間**
<2回目> 10/22(火)・23(水)・24(木) **3日間**

受講料 定員
各12,000円 各10名

時間

9:30~16:30

概要

一般的な電気知識と電気設備の安全対策及び機器の故障や劣化防止、測定試験、電気保全に関する技術について実習を通して習得します。(機器配線、シーケンス回路、制御盤不良箇所の検出、絶縁抵抗測定、電気安全、接地)

- 1 電気災害概要と対応策
- 2 欠陥の種類
- 3 電気設備のトラブルとその探索
- 4 電気保全実習

RENEWAL 故障診断の課題時間を増やすことで、より深く学ぶことができるようになりました。

受講者の声

- 電気安全の項目も分かりやすくてまとまっており、職場内教育の内容を検討する上で非常に参考になりました。
- たくさんの課題を通してイメージが付き、また、誤作動する原因の調べ方を理解することができました。

使用機器

シーケンス制御盤、クランプメータ、メガ、テスタ等

持参物

筆記用具、保護手袋

建築設備施工



冷媒配管の施工と
空調機器据付け技術

コース番号
詳しくは下記二次元コードを読み取って
ホームページをご確認ください。



日程

<1回目> 4/25(水)・26(金) **2日間**
<2回目> 1/20(月)・21(火) **2日間**

受講料 定員
各10,000円 各10名

時間

9:30~16:30

概要

空調機器の据付、撤去作業の技能向上をめざして、欠陥や問題点及び据付・撤去時の注意事項やノウハウを習得します。

- 1 設備配管工事
- 2 空調機器据付実習
- 3 漏洩検査

受講者の声

- 冷媒配管施工について学ぶことができました。
- 会社にいるだけでは身に付かないどころか、試す機会もない作業ばかりだったので大変ためになる有意義な時間でした。講義内容もとても分かりやすかったです。
- 自分で調べても理解が不十分であった箇所についても、分かり易く教えて下さり、理解が深まりました。

使用機器

空調調和機器、配管工具一式、ゲージマニホールド、冷媒充填用はかり

持参物

筆記用具、保護手袋